

信濃美術館の実施設計にかかる 意見交換会（美術関係者）の概要

日 時：平成 30 年 6 月 19 日（火）午前 10 時から 11 時 55 分

場 所：長野県庁 議会棟 405 号会議室

出席者：(株)プランツアソシエイツ 代表取締役 宮崎浩氏

信濃美術館 松本透館長

長野県 中坪成海県民文化参事兼文化政策課長、日向修一信濃美術館整備
室長、塩入一臣施設課企画幹

参加者：25 名

概 要

[意見交換テーマ]

○県民ギャラリー等

[主な意見等]

【全体】

- 水場や控室など細かなところに気を配っていただきありがたい。
- これまでの要望事項やアンケートの内容がかなり盛り込まれている。

【設計関連】

<県民ギャラリー>

- 作品搬入や展示の準備を自分たちで行っているが、高齢者が多く作業が大変である。可動パネルの移動が高齢者でもできるようになることはありがたい。また、展示する際、ピックアップレールの設置により、手の届くところで作業ができることはうれしい。
- 作品搬入は、トラックで行うより、個人搬入が多い。駐車スペースなど搬入口での混雑が心配である。
- 貸館利用は、県民ギャラリーと多目的ルームとのことだが、大きな展覧会の場合狭いのではないか。
- 交流スペースから地階が見えるガラス床や県民ギャラリー横のガラス面は、展示面の確保の点からすると効率が悪い。できればガラス床とガラス面はやめて展示面にしてほしい。
- これまでのギャラリーは暗かったが、新美術館の県民ギャラリーでは、東京都美

術館や国立美術館並みに明るくしてほしい。

- 照明は作品ごとに光が当たるように可動式のスポットライトを設置してほしい。
- 作品を撮影する際、作品に影が写らないように照明を工夫してほしい。
- 空調が作品に直接当たらないように配慮してほしい。
- 作品のキャプション掲示には、両面テープやピンを使わせてほしい。

<交流スペース>

- デッドスペースだと思えるけど、発想転換でいろいろな見方が変わるような部分がたくさん転がっているとよい。

<その他>

- 善光寺への来訪者をどうやって美術館に誘導するか考えてほしい。
- 今の客層だけではない客層に善光寺や美術館、城山公園に来てもらうためにも、県と長野市、善光寺が協力して整備を進めてほしい。善光寺から美術館に向かう交差点付近をどれだけ広げられるかが、美術館がどれだけ善光寺側から見えるかの勝負どころである。
- 1階にカフェがあり、善光寺側から行きたいと思えるようなオープンカフェのイメージがよい。善光寺からの誘客を意識して、善光寺東公園や東側道路の桜並木の整備を善光寺や長野市と協力して進めてほしい。
- 善光寺からの人の流れを考えるとカフェは美術館の中ではなく、公園にあったほうがよいのではないかと。屋上広場にもカフェがあるとよい。

【運営関連】

<県民ギャラリー>

- 貸館希望が重なった場合の運用について今後検討してほしい。
- 分割して複数の団体が利用する場合、展覧会の最中に他の団体の作品が搬入されないように日程調整する必要がある。
- 彫刻や立体造形物を展示する際に必要な備品の整備をお願いしたい。
- 華道の展示台は、幅が75cmくらいあるとよい。
- 工芸の展示台は、毎回レンタルしており費用がかかる。面積に対して半分くらいは両脇を押さえられる量の展示台を確保するか、壁面で展示できる仕組みがあると

よい。展示台が不足する場合は、レンタルしなければいけないので、備品はポピュラーなサイズのものをお願いしたい。

- 展覧会が終わった後、ワイヤーの数が合わないなど苦労している。そのあたりを何とかしてもらいたい。

<交流スペース>

- 交流スペースのオープンギャラリーは、企画展以外で同時代の作家たちと美術館の関わりなど、この場所を上手く活かして使うとおもしろいと思う。
- 交流スペースは、固定せずにフレキシブルな運用ができるとよい。具体的には、オープンギャラリー横に彫刻作品が展示できるような運用をしてもらえるとありがたい。

(以上)